

## 北海道立オホーツク流水科学センターの指定管理者の候補者の選定について

1 公の施設の概要		名称：北海道立オホーツク流水科学センター 所在地：紋別市元紋別11番地6 設置目的：流水及び海洋に関する科学的知識の普及を図るとともに、流水に象徴されるオホーツク圏の自然と生活文化に対する理解を深める。		担当課 環境生活部文化局文化振興課 (文化振興係) 直通：011-204-5215 代表：011-231-4111(内線24-403)		
2 申請期間		令和3年10月20日(水)～12月8日(水)				
公募概要	申請条件	指定期間(予定) 令和4年4月1日(金)～令和9年3月31日(水)				
	業務の範囲	(1) 流水及び海洋並びに生活文化に関する資料を収集し、保管し、及び展示すること。 (2) 北海道立オホーツク流水科学センター(以下「流水科学センター」という。)が収集し、保管し、又は展示する資料(以下「流水科学センター資料」という。)に関する調査研究を行うこと。 (3) 流水及び海洋並びに生活文化に関する講演会、講習会、研究会等を主催し、並びにその開催を援助すること。 (4) その他設置の目的を達成するために必要な事業 (5) 流水科学センターを利用しようとする者の利用承認に関すること。 (6) 流水科学センターの多目的ホール、会議室又はエントランスホールの使用承認に関すること。 (7) 流水科学センター資料の閲覧、模写、模造、撮影又は複写の承認に関すること。 (8) 流水科学センター資料の貸出しの承認に関すること。 (9) 施設及び設備の維持管理に関すること。 (10) その他知事が定める業務				
	利用料金制度	導入済(平成16年度)				
	負担金限度額	396,005,000円				
	審査基準等	別紙1「北海道立オホーツク流水科学センター指定管理候補者決定基準」(公募要項別添4)のとおり				
3 申請結果		申請者数：1団体				
選定委員会	名称		北海道立オホーツク流水科学センター指定管理者候補者選定委員会 (事務局：環境生活部文化局文化振興課)			
	運営要領		別紙「北海道立オホーツク流水科学センター指定管理者候補者選定委員会運営要領」のとおり			
	委員		区分	氏名	所属	備考
			委員長	佐々木 亨	国立大学法人北海道大学大学院文学研究院	学識経験者
			副委員長	石川 直章	小樽市総合博物館	学識経験者
			委員	小西 麻衣	一般社団法人中小企業診断協会北海道	学識経験者
			委員	林 麻奈美	公益社団法人北海道観光振興機構	学識経験者
			委員	三寺 史夫	国立大学法人北海道大学低温科学研究所	学識経験者
	開催状況		区分	開催日時・場所	議事	出席率
			第1回	令和3年10月12日(火) 札幌市中央区北3西6	・公募方法、選定の基準及び方法について	100%
		第2回	令和3年12月23日(木) 札幌市中央区北2西7 (かでの2.7)	・申請資格等(形式的要件)審査及び必須項目審査・ 加点項目審査について ・申請者に対するヒアリングの実施 ・指定管理者候補者の選定	100%	
審査の経過		令和3年10月12日開催の第1回委員会において、公募方法、選定の基準及び方法について検討を行った。 令和3年10月20日から公募を開始し、締切までに1団体から申請があり、事務局において申請資格(形式的要件)等に係る事前審査を行った上で、12月10日に申請書類等の副本を各委員に送付し、検討を依頼した。 12月23日開催の第2回選定委員会において、申請者からヒアリングを行い、引き続き各委員が必須項目審査及び加点項目審査を実施した。 委員会委員の総意により指定管理者候補者を決定し、同日、審査の経過及び結果について道に報告した。				
採点結果		別記のとおり				
審査の結果		指定管理者の候補者 公益財団法人オホーツク生活文化振興財団 理事長 高橋 修平				
選定理由		公益財団法人オホーツク生活文化振興財団は申請資格審査及び必須項目審査において、全ての審査の要件を満たしていることを確認し、加点項目審査においては、今回、1団体からの申請だったことから、公益財団法人オホーツク生活文化振興財団を指定管理者候補者として選定した。				

※本書は、選定委員会における審議経過を示したものであり、最終的には、北海道議会の議決をいただいた後、正式に指定管理者を指定する予定です。